

AOIMORI SHINKIN REPORT

青い森しんきんの現況

ミニディスクロージャー誌

2024年3月期

2023年4月1日▶2024年3月31日

2024



青い森信用金庫



Face to Face



ごあいさつ

皆様には、平素より青い森信用金庫に対しまして、格別のご理解とお引き立てを賜り心より厚く御礼申し上げます。

本年も、当金庫の経営方針をはじめ、業務内容、財務内容、地域貢献活動等の事業活動をお伝えるためのディスクロージャー誌「青い森しんきんの現況2024」を作成いたしましたので、ご高覧いただき、当金庫をより一層身近な金融機関としてご理解いただければ幸いに存じます。

さて、県内経済は、新型コロナの感染拡大の影響が落ち着き、人流の回復とともに社会経済活動の正常化が進みました。その一方で、ウクライナ・中東情勢に起因するエネルギー資源・原材料価格の高騰や、日米間の金利差拡大を背景とした円安が幅広い分野で影響を受けております。さらに、人口減少と少子高齢化が進み、人手不足や人材確保の問題などにより、今後経済の停滞が心配されるところです。

その様ななか、日本銀行は、去る3月19日の金融政策決定会合で、マイナス金利政策の解除を決定し、2007年以来17年ぶりに金利が引き上げられました。しかしながら、地方の中小企業にとっては景気改善の実感は乏しく、物価高や労務コストの上昇等の対処が重い課題としてのしかかっており、課題の解決に向けた取組み方が重要となっております。

こうした情勢のもと、2023年度決算においては、地域の皆様の信頼に応えるため、経営の効率化や健全化に努めた結果、後掲通りの業績をおさめることができました。これもひとえに総代および会員の皆様をはじめ、お取引先各位のご理解とご愛顧の賜と深く感謝申し上げます。

2024年度は、「青い森信用金庫」が誕生して15周年を迎えます。この節目の年に改めて役職員一丸となり、信用金庫の真価の発揮と地域の持続的発展を目指し、邁進してまいります。

何とぞ今後とも相変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の一層のご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げ、ごあいさつといたします。

2024年7月 理事長 **益子政士**

経営の基本方針

青い森信用金庫は 次に掲げる基本方針によって経営する。

すべての業務活動は基本方針を実現するために行われるものであり、役職員はこの方針に従い、それぞれの職責を自覚し、その実現に努めなければならない。

1 地域社会に対する貢献

一般大衆ならびに中小企業のための専門金融機関として、金融面から地域社会の発展、地域住民の繁栄に貢献する。

2 調和のある経営

経営活動の基盤は会員・取引者並びに役職員であり、そのいずれに対しても公正で調和のとれた経営を行う。

3 経営の安定と発展

常に創意と工夫によって、経営の質的向上と合理化を図り、適正な利益の確保と内部蓄積の充実に努める。

金庫訓

青い森信用金庫では、地域のお客さまとの“笑顔”を大切にし、“お客さま第一”での接客応対を目指しております。地域のお客さまから、より一層の“笑顔”をいただけるよう、次のとおり金庫訓「私たちの誓い」を掲げ、役職員一同行動してまいります。

私たちの誓い

1. 私たちの仕事は、お客様に「笑顔」を届けることです
1. 私たちの仕事は、お客様から「笑顔」をいただくことです
1. 私たちの使命は、地域を「笑顔」にすることです

当金庫のプロフィール (2024年3月31日現在)

創立	大正11年12月27日
本店所在地	青森県八戸市大字八日町18番地
出資金	89億2,387万円(優先出資含む)
会員数	71,670名
常勤役職員数	410名
店舗数	38店舗(出張所含む)
営業地区	青森県、秋田県鹿角市のうち十和田および鹿角郡小坂町



2023年度 主なトピックス

2023年4月から2024年3月までの、青い森信用金庫の主な活動をご紹介します。

- 2023年**
- 5月9日～31日 ● 「ハッピードラッグ桔梗野店出張所」他1箇所のお店外ATMコーナーを廃止しました。
 - 6月9日～22日 ● 信用金庫の日(6月15日)に係る県内信用金庫統一事業として「献血運動」を実施しました。
 - 6月16日 ● 第100期通常総代会を開催しました。
 - 6月23日 ● マネックス証券株式会社と連携し、八戸工業大学感性デザイン学部感性デザイン学科1・2年生を対象に「金融教育」を実施しました。
 - 6月24日 ● 第14回「弘前・津軽地区清掃奉仕活動」を実施しました。
 - 7月8日 ● 第31回「奥入瀬溪流付近清掃奉仕活動」を実施しました。
 - 7月11日 ● 「PayPay」との口座連携を開始しました。
 - 7月17日 ● 店外ATMコーナー「マックスバリュ十和田南SC出張所」を廃止しました。
 - 7月18日 ● 「セゾンの住宅ローン」の取扱いを開始しました。
 - 7月20日～10月31日 ● 「大雨被害による被災者ローン」の取扱いを開始しました。
 - 8月24日 ● 店外ATMコーナー「スーパーふじわら出張所」を廃止しました。
 - 9月2日 ● 第14回「下北地区清掃奉仕活動」を実施しました。
 - 9月4日～22日 ● 「常盤出張所」他4箇所の店外ATMコーナーを廃止しました。
 - 9月11日 ● 「弘前支店」を「弘前営業部」に、「五所川原支店」を「津軽営業部」に名称変更しました。
 - 9月26日 ● 「J-Coin Pay」との口座連携を開始しました。
 - 10月16日 ● 「鍛冶町支店」「浪岡支店」「板柳支店」の店舗種類を出張所に変更しました。
 - 10月28日 ● 第14回「青森地区清掃奉仕活動」を実施しました。
 - 10月28日 ● 第19回「三陸復興国立公園 種差海岸清掃奉仕活動」を実施しました。
 - 11月13日 ● 「湊高台支店」を「白銀支店」、「大野支店」を「青森営業部」、「鶴田支店」を「津軽営業部」に、それぞれ店舗統合しました。
 - 11月27日 ● 「フリーローンモア(WEB完結型申込)」の取扱いを開始しました。
 - 12月4日 ● 青い森しんきん「月曜会」の散髪奉仕活動を実施しました。(通算41回実施)
- 2024年**
- 1月23日 ● マネックス証券株式会社と連携し、八戸学院野辺地西高等学校2年生を対象に「金融教育」を実施しました。
 - 2月1日 ● スマホ決済サービス「Bank Pay」の取扱いを開始しました。
 - 2月12日～3月13日 ● 創立100周年記念企画として、信友会旅行「沖縄の世界遺産3泊4日の旅」を実施しました。
 - 2月21日 ● 少額の個人間送金サービス「こたら送金」の取扱いを開始しました。



青い森信用金庫と地域社会

これまで、これからも、地元のために頑張ります。

当金庫の地域経済活性化への取組みについて

当金庫は、青森県内、秋田県北の一部(注)を営業基盤とする地域の中小企業や住民が会員になって、お互いに発展していく事を共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切な資金(預金)は、地元で資金を必要とするお客様にご融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いを

するとともに、地域社会の一員として地元の中小企業や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。

また、金融機能の提供にとどまらず、文化・スポーツ、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

(注)秋田県鹿角市のうち十和田及び鹿角郡小坂町が営業地区となります

※各計数は2024年3月31日現在



持続可能な地域社会の実現に向けて 青い森信用金庫SDGs活動

青い森信用金庫は、国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」を日々の信用金庫活動に結びつけ、地域社会の繁栄に貢献することで、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

地域経済



当金庫は、地域経済が抱える課題の解決に向けた取り組みを強化するとともに、外部機関とパートナーシップを結び、共有価値を創造することにより、地域経済の振興に貢献してまいります。

地域社会



当金庫は、役職員一丸となり、地域の環境保全に積極的に取り組みます。また、環境に配慮した事業活動を行うことにより、地域の豊かな自然環境を次世代につなぎます。

地域環境



当金庫は、経営の基本方針である「地域社会に対する貢献」に基づき、地域の「まちづくり・ひとづくり・しごとづくり」に取り組めます。また、多様な人材が活躍できる職場環境の整備に努めます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは…

「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際目標であり、17の目標と169のターゲットで構成されています。「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、政府だけでなく、自治体や企業、諸団体、個人に至る我々一人ひとりが、目標達成に向けて協力・連携し、自主的に取り組んでいくことが求められています。

中小企業の経営支援のための取組み

地域経済



当金庫は、地域経済が抱える課題の解決に向けた取組みを強化するとともに、外部機関とパートナーシップを結び、共有価値を創造することにより、地域経済の振興に貢献してまいります。

中小企業の経営支援に関する取組み方針

当金庫は創立以来「地域のみなさまの繁栄と豊かな暮らしづくりのお手伝い」を経営理念とし、地域と共に歩んでまいりました。地域社会の持続的発展に貢献することは事業地域が限定された協同組織金

融機関である信用金庫にとって、最も重要な社会的使命です。当金庫は、お客様の抱えている課題、問題点に対して、その解決に向けて真摯に取り組み、地域社会の発展に全力で取り組んでまいります。

当金庫の支援態勢

お客様の事業に関する様々なニーズにお応えできるよう、外部機関と連携しながら、営業店、本部が一体となった支援体制を構築しております。また、当金庫は「中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業」に支援機関として参画し、個別企業に対する外

部専門家派遣により様々な課題解決を支援しているほか、中小企業経営力強化支援法に基づく「認定経営革新等支援機関」として、経営状況に関する調査・分析、事業計画の策定や経営改善・創業支援に係わる指導及び助言などの支援活動も実施しております。

お客様からのご相談

創業・新事業開拓を目指すお客様

- ・創業したい。
- ・新事業へのアドバイスがほしい。
- ・会社設立、許認可等の各種手続きについて相談したい。

成長段階における更なる飛躍を目指すお客様

- ・新たな販売先や仕入先を開拓したい。
- ・商品やサービスを開発・改良したい。
- ・遊休不動産の活用や事業の拡大・多角化を図りたい。
- ・雇用や社員教育を今より充実させたい。

経営改善や事業再生を目指すお客様

- ・経営改善や事業再生に取り組みたい。
- ・事業を承継したい。

青い森信用金庫の経営サポート

- ・事業計画書策定支援
- ・新商品開発支援
- ・専門家等による無料相談 など

- ・ビジネスマッチング先の紹介
- ・研修会や異業種交流会の開催
- ・専門家等による無料相談
- ・研究機関の紹介
- ・合同ビジネスマナー研修 など

- ・経営改善計画策定支援 (収益力改善・資金繰り支援等)
- ・専門家等による無料相談
- ・後継者の育成支援
- ・M&A仲介 など

青い森信用金庫

- ・中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業(支援機関)
- ・認定経営革新等支援機関

営業店

本部

- ・営業本部・経営サポート部・地域支援室・融資部

外部連携先

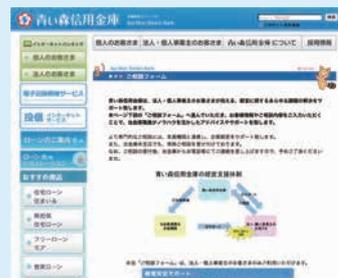
- ・中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業
- ・公益財団法人21あおり産業総合支援センター
- ・青森県事業承継・引き継ぎ支援センター
- ・青森県よろず支援拠点
- ・青森県中小企業診断士協会
- ・青森県信用保証協会
- ・青森県中小企業活性化協議会
- ・青森県行政書士会
- ・大学・高等専門学校
- ・金融機関
- ・自治体

当金庫ホームページでの経営相談受付

日頃ご来店が難しいお客様のご相談にもお答えするため、ホームページに事業者向けの「ご相談フォーム」を設置し、常時お客様からのご相談の受付を行っています。

ご相談メニュー

- ・経営安定サポート
- ・創業サポート
- ・産学連携技術サポート
- ・ビジネスマッチング
- ・事業承継・M&Aサポート
- ・経営改善サポート
- ・その他



中小企業の経営支援に関する取組み状況

●中小企業経営力強化研修会の開催

青森県信用金庫協会と連携し、研修会・異業種交流会を開催しております。本研修会はお取引先以外の企業も参加できるオープンな運営を基本としており、2023年度は各地区でセミナーを3回開催いたしました。



中小企業経営力強化研修会の開催風景

●ビジネスマッチングフェアへの参加

夢メッセみやぎで開催される「ビジネスマッチ東北2023」や東京ビッグサイトで開催される「2023“よい仕事おこし”フェア～地域を応援!信用金庫がつなぐ大商談会～」への参加により販路開拓の機会を提供しております。これまでに複数の食品加工業者が首都圏百貨店と取引開始となるなど成果をあげております。



ビジネスマッチ東北2023秋の開催風景

地域の環境保全のための取組み

地域環境



当金庫は、役職員一丸となり、地域の環境保全に積極的に取り組みます。また、環境に配慮した事業活動を行うことにより、地元の豊かな自然環境を次世代につなぎます。

各地区での奉仕活動

●弘前・津軽地区清掃奉仕活動

津軽地区で重要な観光資源である津軽富士見湖付近の清掃奉仕活動を実施しました。(2023年6月24日(土)実施)

●下北地区清掃奉仕活動

地域貢献活動の一環として、下北地区にて清掃奉仕活動を実施しました。(2023年9月2日(土)実施)

●奥入瀬溪流付近清掃奉仕活動

十和田地区の重要な観光資源である奥入瀬溪流付近の清掃奉仕活動を実施しました。(2023年7月8日(土)実施)

●青森地区清掃奉仕活動

青森市内中心部にある合浦公園の清掃奉仕活動を実施しました。(2023年10月28日(土)実施)

●三陸復興国立公園種差海岸清掃奉仕活動

八戸地区の重要な観光資源である「三陸復興国立公園 種差海岸清掃奉仕活動」を実施しました。(2023年10月28日(土)実施)



合浦公園の清掃奉仕活動の実施風景



三陸復興国立公園種差海岸清掃奉仕活動の実施風景

地域活性化のための取組み

地域社会



当金庫は、経営の基本方針である「地域社会に対する貢献」に基づき、地域の「まちづくり・ひとづくり・しごとづくり」に取り組みます。また、多様な人材が活躍できる職場環境の整備に努めます。

地域社会に対する貢献

●交通安全読本の寄贈

2023年3月29日(水)三菱製紙八戸工場と共同で、八戸地区交通安全協会に「母と子の交通安全読本」2400部を贈呈しました。読本の贈呈活動は1969年から続けており、今回を含め23万1360冊となりました。読本は八戸市、階上町、五戸町、六戸町、おいらせ町、新郷村の6市町村にある小学校58校の2023年度新1年生に配布されました。



交通安全読本の贈呈風景

●金融教育の実施

地域貢献の一環として高校生・大学生を対象とした金融教育の実施や、小学生・中学生を対象とした職場体験学習を積極的に受け入れています。2023年度は、1校53名の高校生、1校30名の大学生に金融教育を実施し、5校50名の小学生、4校31名の中学生の職場体験学習を受け入れました。



2024年1月24日、八戸学院野辺地西高等学校での授業の様子

2023年度業績の概要

預 金

預金残高 **6,192** 億円

預金残高は、前期末比249億円減少し6,192億円となりました。

内訳は要払性預金が91億円減少、定期性預金が157億円の減少となりました。

要払性預金は個人預金が98億円増加した一方、法人預金では地公体の保証融資制度における預託金の減少等が要因となり189億円の減少となりました。

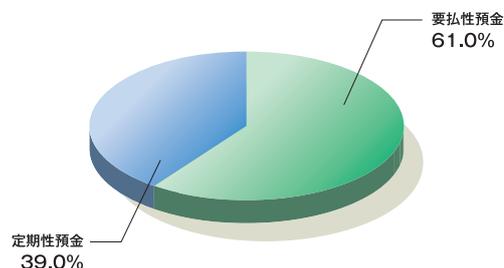
定期性預金は低金利等が要因となり、個人預金が154億円減少、法人預金が3億円減少となりました。

● 預金残高推移 ※譲渡性預金含む

(単位:億円)



● 預金残高構成 (2023年度) ※譲渡性預金は定期性預金に含む



貸 出 金

貸出金残高 **2,350** 億円

貸出金残高は、前期末比19億円減少し2,350億円となりました。個人資金は2億円増加しましたが、事業資金が18億円減少し、地方公共団体向け貸出は2億円減少しました。

業種別では、金融・保険業11億円、物品・賃貸業6億円、建設業5億円増加しましたが、不動産業17億円、医療・福祉業12億円、製造業4億円がそれぞれ減少しております。

● 貸出金残高推移

(単位:億円)



2024年3月末現在貸出金残高の構成

総貸出金 235,000百万円の内訳

事業者へのご融資	136,392百万円
うち設備資金	57,182百万円
うち運転資金	79,209百万円
個人へのご融資	70,558百万円
うち住宅資金	46,019百万円
うち消費資金	24,538百万円
地方公共団体へのご融資	28,049百万円

当金庫の2024年3月末の預貸率は **37.94%** です。
(譲渡性預金含む)

有価証券

有価証券残高 1,624億円

有価証券残高は、日本銀行の金融政策の転換により市場環境が大きく変化したことを受けて、大幅なポートフォリオの見直しを行ったことから、前期末比119億円減少し1,624億円となりました。内訳を見ると、外国証券が62億円、社債が18億円の増加となりましたが、地方債が120億円、国債が80億円の減少などとなりました。

預け金等を含めた余資運用資金全体の残高は246億円減少し3,983億円となりました。

損益

当期純利益 8億7百万円

経常収益は、貸出金利息、預け金利息、役務取引等収益が増加したほか、国債等債券売却益、貸倒引当金戻入益を計上したことなどから前期末比17億36百万円増加し93億9百万円となりました。一方、経常費用は、経費や貸倒引当金繰入額が減少となりましたが、ポートフォリオを見直したことに伴う国債等債券売却損を計上したことなどから前期末比16億34百万円増加し83億23百万円となりました。これにより経常利益は前期末比1億1百万円増加し9億85百万円となりました。当期純利益は、経常利益が増加したことに加え、特別損失が減少したことなどから、前期末比4億5百万円増加し8億7百万円となりました。

自己資本

自己資本比率 11.16%

自己資本比率計算の分子にあたる自己資本額は、当期純利益金からの積上げや前払い年金費用の積み上げ等が増加要因となったものの、一般貸倒引当金の減少額が増加分を上回り、前期末比2億円減少し263億円となりました。

分母にあたるリスクアセット等の額は、有価証券の大幅な減少を主要因として、全体では2億円減少の2,357億円となりました。以上の通り、自己資本額の減少割合がリスクアセット額の減少割合を上回ったことから、自己資本比率は前期末比0.10ポイント低下し11.16%となりました。

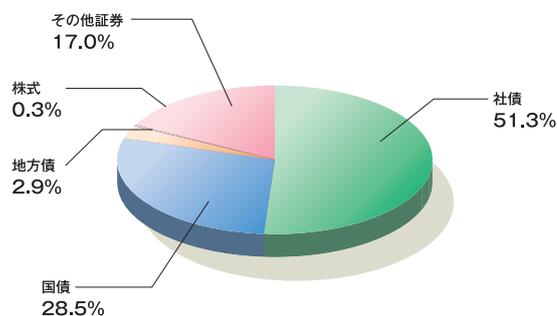
自己資本比率の国内基準である4%を大きく上回る水準を引き続き確保しております。

●有価証券残高推移

(単位:億円)



●有価証券残高構成 (2023年度)



●当期純利益推移

(単位:百万円)



●自己資本推移

■自己資本額 ●自己資本比率



財務諸表

○ 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	金 額	
	第100期 2023年3月31日現在	第101期 2024年3月31日現在
(資 産 の 部)		
現 金	8,685	8,865
預 け 金	235,968	222,449
買 入 金 銭 債 権	9,629	9,611
有 価 証 券	174,355	162,407
国 債	54,373	46,283
地 方 債	16,727	4,687
社 債	81,488	83,335
株 式	146	436
その他の証券	21,618	27,663
貸 出 金	236,916	235,000
割 引 手 形	1,223	1,453
手 形 貸 付	19,254	19,121
証 書 貸 付	194,226	192,257
当 座 貸 越	22,212	22,169
そ の 他 資 産	4,294	5,180
未 決 済 為 替 貸	80	128
信 金 中 金 出 資 金	3,069	3,919
未 収 収 益	719	774
そ の 他 の 資 産	425	357
有 形 固 定 資 産	7,794	7,374
建 物	2,778	2,561
土 地	4,605	4,385
リ ー ス 資 産	0	7
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	409	420
無 形 固 定 資 産	149	120
ソ フ ト ウ ェ ア	110	81
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	38	38
前 払 年 金 費 用	761	859
繰 延 税 金 資 産	130	177
債 務 保 証 見 返	388	407
貸 倒 引 当 金	△ 9,754	△ 8,790
(うち個別貸倒引当金)	△ 7,416	△ 7,253
資 産 の 部 合 計	669,320	643,663

(単位：百万円)

科 目	金 額	
	第100期 2023年3月31日現在	第101期 2024年3月31日現在
(負 債 の 部)		
預 金 積 金	643,602	617,930
当 座 預 金	8,775	9,690
普 通 預 金	357,104	364,619
貯 蓄 預 金	570	561
定 期 預 金	240,045	225,613
定 期 積 金	16,780	14,648
そ の 他 の 預 金	20,326	2,796
譲 渡 性 預 金	559	1,328
借 用 金	762	712
借 入 金	762	712
そ の 他 負 債	920	994
未 決 済 為 替 借	118	206
未 払 費 用	142	134
給 付 補 填 備 金	16	9
未 払 法 人 税 等	12	12
前 受 収 益	117	110
払 戻 未 済 金	67	89
資 産 除 去 債 務	301	284
そ の 他 の 負 債	144	148
賞 与 引 当 金	255	244
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金	100	94
睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	18	16
偶 発 損 失 引 当 金	61	68
再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	266	213
債 務 保 証	388	407
負 債 の 部 合 計	646,936	622,010
(純 資 産 の 部)		
出 資 金	9,012	8,923
普 通 出 資 金	4,012	3,923
優 先 出 資 金	4,000	4,000
そ の 他 の 出 資 金	1,000	1,000
利 益 剰 余 金	16,001	16,811
利 益 準 備 金	3,269	3,359
そ の 他 利 益 剰 余 金	12,732	13,452
特 別 積 立 金	11,912	12,312
(うち優先出資消却積立金)	2,391	2,791
(うち経営安定化積立金)	1,900	1,900
当 期 未 処 分 剰 余 金	819	1,139
処 分 未 済 持 分	△ 5	△ 3
会 員 勘 定 合 計	25,009	25,732
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 3,198	△ 4,513
土 地 再 評 価 差 額 金	572	434
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△ 2,625	△ 4,078
純 資 産 の 部 合 計	22,383	21,653
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	669,320	643,663

○ 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額	
	第100期 (2022年4月1日～ 2023年3月31日)	第101期 (2023年4月1日～ 2024年3月31日)
経 常 収 益	7,572,879	9,309,285
資金運用収益	6,508,300	6,645,501
貸出金利息	4,592,939	4,677,750
預け金利息	353,549	511,457
有価証券利息配当金	1,442,339	1,337,509
その他の受入利息	119,472	118,784
役務取引等収益	915,138	1,003,897
受入為替手数料	271,257	261,067
その他の役務収益	643,881	742,829
その他業務収益	102,515	836,617
国債等債券売却益	43,542	779,893
その他の業務収益	58,972	56,723
その他経常収益	46,925	823,269
貸倒引当金戻入益	—	787,381
償却債権取立益	29,831	16,307
株式等売却益	11,251	13,747
その他の経常収益	5,842	5,833
経 常 費 用	6,689,237	8,323,677
資金調達費用	28,667	20,286
預金利息	22,427	15,491
給付補填備金繰入額	2,700	1,417
譲渡性預金利息	97	143
借入金利息	3,442	3,233
役務取引等費用	917,336	928,376
支払為替手数料	71,330	72,827
その他の役務費用	846,006	855,549
その他業務費用	1,009	2,358,167
国債等債券売却損	—	2,309,883
国債等債券償還損	—	41,760
その他の業務費用	1,009	6,524
経 費	5,258,407	4,994,287
人件費	3,134,955	2,948,696
物件費	1,903,386	1,849,464
税金	220,065	196,126
その他経常費用	483,816	22,558
貸倒引当金繰入額	379,298	—
貸出金償却	19,125	—
その他の経常費用	85,392	22,558
経 常 利 益	883,642	985,608

(単位：千円)

科 目	金 額	
	第100期 (2022年4月1日～ 2023年3月31日)	第101期 (2023年4月1日～ 2024年3月31日)
特 別 利 益	11,999	48
固定資産処分益	11,999	48
特 別 損 失	577,839	285,449
固定資産処分損	12,135	13,996
減 損 損 失	565,703	271,452
税引前当期純利益	317,802	700,207
法人税、住民税及び事業税	11,979	12,080
法人税等調整額	△ 96,696	△ 119,806
法 人 税 等 合 計	△ 84,716	△ 107,726
当 期 純 利 益	402,519	807,933
繰越金(当期首残高)	244,059	193,518
土地再評価差額金取崩額	173,096	138,015
当期末処分剰余金	819,675	1,139,467

○ 剰余金処分計算書

(単位：円)

科 目	金 額	
	第100期 (2022年4月1日～ 2023年3月31日)	第101期 (2023年4月1日～ 2024年3月31日)
当期末処分剰余金	819,675,366	1,139,467,605
剰 余 金 処 分 額	626,157,106	954,386,086
利益準備金	90,000,000	120,000,000
普通出資に対する配当金	80,157,106	78,386,086
優先出資に対する配当金	56,000,000	56,000,000
特別積立金	400,000,000	700,000,000
(うち優先出資消却積立金)	(400,000,000)	(700,000,000)
繰越金(当期末残高)	193,518,260	185,081,519

(注) 第101期の普通出資に対する配当金は年2.00%の割合、優先出資に対する配当金は年0.70%の割合

総代会

総代会の議案について

総代会では、以下に掲げる事項を議案として付議される事になっております。

- ①決算関係書類の報告、承認 ②役員を選任
- ③定款の変更 ④その他重要事項の決定

尚、2024年6月21日に開催された第101期通常総代会における付議事項は、下記のとおりです。



第101期通常総代会の開催風景

【報告事項】

1. 監事による監査報告
2. 第101期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)業務報告、貸借対照表及び損益計算書の内容報告

【決議事項】

- 第1号議案…第101期剰余金処分案承認の件
- 第2号議案…定款の一部変更の件
 - 1. 従たる事務所廃止に関する件
- 第3号議案…会員の除名承認の件
- 第4号議案…理事の任期満了に伴う選任の件
- 第5号議案…退任理事に対する退職慰労金贈呈の件
- 第6号議案…総代候補者選考委員の選任の件

総代会の概要図

(2024年4月1日現在)



総代会 (最高決議機関)

会員の総意を適正に反映するための制度

- 議決権 一人一票
- 出席会議
 - ①通常総代会 毎年6月
 - ②臨時総代会 必要により随時
 - ③総代懇談会 毎年11月

選任地区	東地区	西地区	合計
総定数 (現在数)	138名 (138名)	42名 (40名)	180名 (178名)
選考委員	14名	4名	18名
会員数	41,797名	29,873名	71,670名

(注)会員数は2024年3月31日現在の人数です。

役員・執行役員一覧

(2024年6月21日現在)

役員

役職名	代表非代表	常勤非常勤	氏名
理事長	代	常	益子 政士
副理事長	代	常	橋本 善太
専務理事	代	常	西村 豊
理事	非	常	今村 鶴富
理事	非	常	長嶺 健一
理事	非	常	月舘 智輝
理事	非	常	岡崎 俊雄
理事	非	常	萬代 治郎 ※1
理事	非	非	稲本 修明 ※1
理事	非	非	八戸 信一 ※1
理事	非	非	三浦 朋子 ※1
理事	非	非	高林 秀典 ※1
監事	非	常	本田 美幸
監事	非	非	村舘 珠樹 ※2
監事	非	非	下村 良輔

※1 職員外理事です。 ※2 信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

執行役員

役職名	氏名
執行役員 事務部長	高木 淳
執行役員 経営サポート部長	奥川 隆一
執行役員 リスク統括部長	松本 紀信

Q&A お客様のご質問にお答えします

~もっと身近に、もっと知って欲しいから~

お客様のご質問にお答えします



Q 「青い森しんきん」の2023年度決算の内容はどのようなですか。

A 前年度より増収・増益となり、当期純利益は8億7百万円を計上しました。

2023年度はウクライナ情勢の長期化によるエネルギーや原材料価格の高騰、日米間の金利差を背景とした円安の進行による物価上昇等により企業収益が悪化したほか、記録的猛暑による農水産物の被害の発生等、懸念材料が多く見られました。その一方で、5月には新型コロナウイルスの感染法上の位置付けが5類へ移行したことで、人流が増加し社会経済活動は緩やかに回復の動きがみられました。このような中、青い森信用金庫は影響を受けたお客様に対し、補助金申請などの経営支援や資金繰り支援等を積極的に行ったほか、かねてより進めてまいりました経費削減等の経営努力を重ねた結果、堅

実な経営を維持できる収益を確保することができました。

当期純利益については、貸出金利息、預け金利息、役員取引等収益が増加したほか、国債等債券売却益、貸倒引当金戻入益を計上したことなどから増益となりました。

利益金につきましては、会員の皆様に対して、配当率2%、金額で78百万円を配当したほか、優先出資に対する配当金として56百万円を充当しました。その他の利益金については、優先出資消却積立金へ7億円を充当しました。

この結果、青い森信用金庫の自己資本額は263億円となりました。

Q 「青い森しんきん」の自己資本比率はどのようになっていますか？

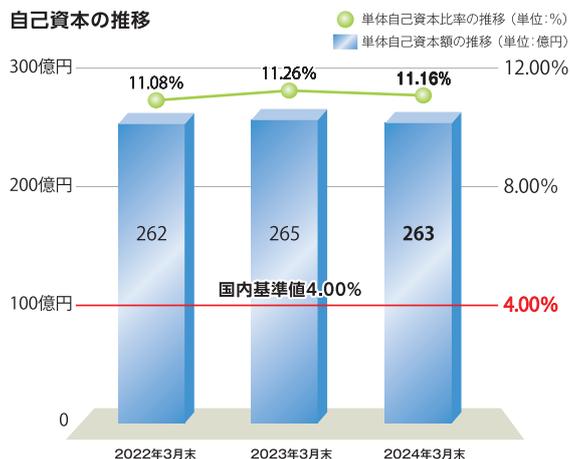
A 自己資本比率は11.16%となり、国内基準の2倍を超える水準を維持しております。どうぞ安心して“青い森しんきん”とおつき合ください。

自己資本比率は、金融機関の「健全性」を示す重要な経営指標です。比率が高ければ高いほど、財務の安全性・健全性が高く経営基盤が安定しているといえます。

2024年3月期の当金庫の自己資本比率は、分子となる自己資本額が、一般貸倒引当金の減少等により前年比2億61百万円減少したこと等から、自己資本比率は11.16%となりました。この比率は、国内のみで業務を行う金融機関の基準値(4%)の2倍を超える健全性を確保しているばかりでなく、大手銀行や地方銀行など海外業務を行う金融機関の基準値である8%を上回る水準を堅持しています。

今後も堅実経営に徹し、地道に自己資本の充実を図り強固な経営体質を築いて、お客様の信頼を第一に安心してご利用いただける地域金融機関を目指してまいります。

自己資本の推移



Q 「青い森しんきん」の不良債権の状況はどうなっていますか？

A ご安心下さい。不良債権の引当てには、万全を期しております。
「青い森しんきん」は健全経営を第一に取り組んでおります。

金融機関の最大のリスクは、貸出金の回収が困難になる「信用リスク」です。

いわゆる「不良債権」とは、金融機関が行った融資が約束どおりに返済されず、今後も返済の目途が立っていない融資のことをいいます。

2024年3月期における当金庫の不良債権の状況は、下記の表のとおりです。

信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権(38ページをご覧ください。)では、破産更生債権及びこれらに準ずる債権についての全てを引当てしているほか、その他の不良債権についても最大限の引当を実施しております。これにより、開示債権に対しての担保・保証等による回

収見込み額と貸倒引当金を含めた保全額の割合である保全率は、93.10%となっております。さらに、企業業績に応じたキャッシュフローによる債権の回収見込額を含めると、実質的な不良債権はゼロとなります。

このように、当金庫の「信用リスク」は極めて低い水準にあり、経営の健全性は高く、お客様に自信をもってご選択・ご理解いただけるものと信じております。

今後とも健全融資の原則に則った厳正な審査と信用リスク管理を一層強化し、不良債権の発生防止と回収に全力を傾け、皆様のご信頼に応えてまいります。

2024年3月末 信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位:百万円)

区分	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	危険債権	区分	要管理債権	うち三月以上延滞債権	うち貸出条件緩和債権	合計
債権残高 (1)	5,473	10,509	債権残高 ①	1,072	74	998	17,055 ^(a)
担保・保証等による回収見込額 (2)	2,146	5,918	担保・保証等による保全額 ②	442	54	387	8,506 ^(b)
キャッシュフローによる回収見込額 (3)		197	キャッシュフローによる回収見込額 ③				197 ^(c)
過去の貸倒実績率からみた予想回収額 (4)		478	過去の貸倒実績率からみた予想回収額 ④	501	15	485	979 ^(d)
回収に懸念がある債権額 (5)=(1)-(2)-(3)-(4)	3,327	3,915	貸倒実績率からみた予想損失額 ④=①-②-③	129	4	125	7,372 ^{(e)=(a)-(b)-(c)-(d)}
個別貸倒引当金 (6)	3,327	3,915	一般貸倒引当金 ⑤	129	4	125	7,372 ^(f)
実質的な不良債権 (7)=(5)-(6)	0	0	実質的な不良債権 ⑥=④-⑤	0	0	0	0 ^{(g)=(e)-(f)}

Q 「青い森しんきん」の店舗計画はどうなっていますか？

A 2024年度は1店舗の店舗統合を実施いたします。

地域の人口減少や、金融業務への異業種の参入などにより、地域金融機関の経営環境は大きく変化しています。また、地域金融機関の果たすべき役割は変化し、従来型の金融サービスの提供に加え、個人のお客様へのライフプランのご提案や事業を営んでいるお客様への経営支援などのコンサルティング業務の重要性が高まっております。

このような経営環境の中、当金庫は店舗戦略を再構築することで、

経営体質の強化を図ると同時にお客様のニーズに合わせたサービスのご提供に、より多くの経営資源を振り向けていくものです。

2024年度は下記1店舗の店舗統合を実施いたします。店舗統合に当たりましては、取引支店名の変更等のお手続きが必要な場合がございますが、できるだけご迷惑をおかけしないよう最善を尽くしてまいります。何卒、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、店舗統合後も当面はATMの営業を継続いたします。

業務移管店	業務承継店	統合日
古川支店	青森営業部	2024年11月11日(月)

Instagram

当金庫が実施する地域のための取組に関する情報や、取引先企業の商品・サービス紹介などを、Instagram(インスタグラム)により情報発信をしています。

青い森信用金庫
Instagram
QRコード



店舗のご案内(38店舗)

(2024年7月1日現在)

店名	住所	電話番号
本店営業部	〒031-0086 八戸市大字八日町1-8	0178-44-3321
湊支店	〒031-0802 八戸市小中野八丁目12-26	0178-22-1151
※本店営業部諏訪出張所	〒031-0001 八戸市大字類家字縄手下1	0178-22-1161
白銀支店	〒031-0822 八戸市大字白銀町字三島上26-1	0178-33-1511
鮫支店	〒031-0841 八戸市大字鮫町字住吉町13-1	0178-33-1521
廿三日町支店	〒031-0041 八戸市大字廿三日町40-2	0178-22-6165
八戸桔梗野支店	〒039-2241 八戸市大字市川町字桔梗野35-65	0178-28-3231
類家支店	〒031-0802 八戸市小中野二丁目8-21	0178-43-7211
沼館支店	〒031-0072 八戸市城下四丁目4-26	0178-44-5131
根城支店	〒039-1166 八戸市根城五丁目2-1	0178-44-5001
八戸駅通支店	〒039-1101 八戸市大字尻内町字八百刈12-1	0178-27-0511
河原木支店	〒039-1164 八戸市下長一丁目18-25	0178-20-2121
※中居林支店	〒031-0002 八戸市大字中居林字蓋名池3-3	0178-96-5041
新井田支店	〒031-0813 八戸市大字新井田字山道19-1	0178-25-2151
南類家支店	〒031-0004 八戸市南類家二丁目2-2	0178-44-7007
十和田営業部	〒034-0082 十和田市西二番町4-1	0176-23-3111
三沢支店	〒033-0001 三沢市中央町四丁目11-42	0176-53-4131
六戸支店	〒039-2371 上北郡六戸町大字犬落瀬字後田50-5	0176-55-3131
穂並支店	〒034-0084 十和田市西四番町2-2	0176-22-1110
大学通支店	〒034-0016 十和田市東十二番町21-16	0176-22-8711
おいらせ支店	〒039-2136 上北郡おいらせ町中下田135-11	0178-56-2880

店名	住所	電話番号
青森営業部	〒030-0823 青森市橋本二丁目12-3	017-732-2223
古川支店	〒030-0862 青森市古川一丁目15-11	017-723-1531
※黒石支店浪岡出張所	〒038-1311 青森市浪岡大字浪岡字若松70-1	0172-62-3121
黒石支店	〒036-0302 黒石市大字油横丁7-1	0172-52-2227
弘前営業部	〒036-8035 弘前市大字百石町1-1	0172-32-3421
弘前駅前支店	〒036-8002 弘前市大字駅前三丁目1-2	0172-33-3133
八重田支店	〒030-0912 青森市八重田四丁目1-10	017-736-7888
※城東支店	〒036-8093 弘前市大字城東中央三丁目1-1	0172-26-1600
※金沢支店	〒030-0852 青森市大字大野字金沢5-48	017-762-2100
※安原支店	〒036-8164 弘前市大字泉野一丁目5-2	0172-87-0600
佃支店	〒030-0963 青森市中佃二丁目19-34	017-743-1231
篠田支店	〒038-0011 青森市篠田二丁目19-31	017-781-2862
※津軽営業部板柳出張所	〒038-3662 北津軽郡板柳町大字板柳字土井108-1	0172-73-2211
津軽営業部	〒037-0063 五所川原市字大町508-10	0173-35-2323
※金木支店	〒037-0202 五所川原市金木町朝日山195-3	0173-53-2125
下北営業部	〒035-0073 むつ市中央二丁目5-22	0175-33-0238
大間支店	〒039-4601 下北郡大間町大字大間字冷水3-7	0175-37-2228

◆ 窓口営業時間のお知らせ

平日9:00~15:00

(※)表示の店舗では11:30~12:30は窓口休業時間となります。

土・日・祝日 / 休業

12月31日~1月3日 / 休業

店外ATMのご案内(34箇所)

(2024年7月1日現在)

八戸市	ユニバース湊高台店	十和田市・三沢市	五所川原市・つがる市	南津軽郡・北津軽郡
イトーヨーカドー八戸沼館店	よこまちストア旭ヶ丘店	イオン十和田	イオン柏店第1	蓆ヶ沢ショッピングセンターパル
マエダストア日計店	よこまちストア一番町店	ビードルプラザ	TSUTAYA五所川原店	鶴田
八戸市立市民病院	よこまちストア新井田店	ユニバース十和田東店	上北郡	三戸郡
八戸赤十字病院	よこまちストア吹上店	むつ市	イオンモール下田	五戸
八食センター	ラピア	大畑	野辺地	
ビッグハウス湊店	青森市	マエダストア苫生店	横浜町役場	
ユニバース桔梗野店	いとく浪岡店	むつ市役所	六戸町役場	
ユニバース小中野店	大野			
ユニバース新井田店	三内			
ユニバース八戸ニュータウン店				

※上記コーナーには、他金融機関設置の共同コーナーを除いております。

● しんきんゼロネットサービス

全国の信用金庫ATMを、利用手数料無料でご利用いただけます。

曜日	ご利用時間帯	対象取引
平日	8:45~18:00	お預入・お引出し
土曜日	9:00~14:00	お引出し

*上記以外の時間帯および日曜日・祝日のご利用では各信用金庫所定の手数料が必要となります。

*本サービスの対象とならない信用金庫ATMが一部ございます。

● 提携ATMサービス

提携金融機関

青森銀行、みちのく銀行

青森銀行とのあすなろネット提携、みちのく銀行とのネット提携により、提携金融機関相互において平日「8時から18時の出金取引」が無料でご利用いただけます。

	8:00	18:00	21:00
平日	無料		110円
土日祝	110円		

*キャッシュカードによるお引き出し・お振込み、残高照会のご利用のみとなります。

*現金のお取引限度額等のご利用に関しては、お取引金融機関へご照会ください。

*各行所定の時間外手数料・振込手数料は必要となります。

*上記以外の他金融機関のカード(ゆうちょ銀行含む)をご利用のお客は所定の手数料が必要となります。また、ご利用時間及び入金のお取引にも一部制限がございますので、詳しくは27ページをご覧ください。

ご存知ですか...? **当金庫のキャッシュカードは**

全国の**セブン銀行ATM**でも使えます。

セブン銀行ATMなら**平日も、土・日・祝日も**

お引出し・お預入れ

ご利用手数料 **一律110円** ※残高照会は終日手数料無料です。

くわしくはセブン銀行ホームページをご確認ください



当金庫のキャッシュカードは **入金 出金 残高照会**

ローソン銀行ATMでも使えます

	0:00	7:00	8:00	18:00	23:00	24:00
お引出し	平日	220円				休止
	土日祝	休止	220円			休止
お預入れ	平日	220円	無料	220円	休止	
	土日祝	休止	220円			

◆1日あたりのお引出し限度額があります。

◇祝日のご利用時間は、該当曜日により異なる場合があります。

◆システムメンテナンスなどにより、ご利用できない場合があります。

◇年末年始・ゴールデンウィークは、上記と異なる場合があります。

◆残高照会は、上記のご利用時間帯にて無料でご利用いただけます。

◆上記手数料には消費税が含まれています。

◆詳しくは、お近くのくろいしんきん>窓口へお問い合わせください。



青い森しんきんイメージキャラクター

青い森信用金庫

〒031-0086 青森県八戸市大字八日町18番地
TEL.0178-44-2121

<https://www.aomorishinkin.co.jp/>

地域支援室 2024年7月発行



このディスクロー
ジャー誌は植物
油インキで印刷
しています。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

当金庫では、本誌「青い森しんきんの現況2024 ミニディスクロージャー誌」及び「青い森しんきんの現況2024」を青い森信用金庫ホームページにて公開しています。パソコン、スマートフォン、タブレット端末などでご覧いただけます。
<https://www.aomorishinkin.co.jp/disclo.html#hr202403>

